

第2次しろい健康プランの評価について

平成28年3月に、第1次しろい健康プランの取り組みを評価し、健康づくりを取り巻く法制度や健康課題に対応するため、健康増進計画、食育推進計画、歯科口腔保健推進計画の3つの計画を一体化したものとして第2次しろい健康プランを策定しました。

平成28年4月に自殺対策基本法が一部改正され、都道府県、市町村が地域の実情に応じた自殺対策計画を策定することとされたことを受け、当市においても健康プランの4つ目の計画として平成31年3月に自殺対策計画を策定しました。

当初、第2次しろい健康プランの計画期間は平成28年度から令和2年度までの5年間（自殺対策計画は平成31年度からの7年間）としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し計画期間を1年延長したため、令和3年度で第2次しろい健康プランが終了したところです。

1 第2次しろい健康プラン 令和3年度の達成状況と事業実績

(1) 重点的取り組みの達成状況

第2次プランの計画期間内に、特に力を入れて取り組むとして掲げた「重点的取り組み」については、平成31年度までは各計画とも概ね進捗させることができましたが、令和3年度は長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、計画どおりに実施できなかった事業があり、一部の項目で目標値を達成できませんでした。

《健康増進計画》

重点的取り組み1	生活習慣病の発症や重症化を予防する取り組みの充実					
がん検診の更なる受診率向上のため、検診未受診者に対する再勧奨を行います						
事業計画：大腸がん検診未受診者に対する再勧奨を行います。						
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
目標値	10%	10%	15%	15%	15%	15%
実績	8.2%	18.0%	30.3%	28.2%	実施なし	27.1%
受診者/再勧奨者	78/948	18/100	20/66	20/71		26/96
参考：検診受診率	37.9%	32.5%	34.0%	33.8%	22.9%	28.6%
						計画通り実施でき 目標を達成できた

実績：新型コロナウイルス感染への不安から受診控えが続いており、検診受診率は平成31年度以前まで回復はしていないものの、受診率向上のための取り組みの一つである再勧奨者に対する受診率は目標を達成できた。

理由：再勧奨した受診者数は微増しており、受診への意識変容のため個別に送付した再勧奨ハガキが効果を有したと考えられるため。

今後：大腸がんは罹患率や死亡率も高いため、個別の再勧奨だけではなく、様々な機会を通じた受診勧奨の啓発も併せて継続していく。

重点的取り組み 2	地域における支え合いや、地域での活動を通じた健康づくりなど、子どもから高齢者までがいきいきと暮らせる地域社会づくりの推進					
健康は個人の努力だけでなく、個人を取り巻く環境にも多く影響を受けることから、全体で9か所ある小学校区を単位として、地域のつながりを重視した健康づくりに取り組みます。						
事業計画：健康づくり講座を実施する地域						
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
目標値	3か所	3か所	6か所	6か所	9か所	9か所
実績	0か所	0か所	4か所	8か所	2か所	1か所
						計画通り実施できず 目標は達成できなかった

実績：地域でのほとんどの活動が中止となり、実績は1か所であった。コロナ禍においての普及啓発を検討し、運動の大切等についてホームページや広報誌のほか、地域新聞等を通して周知を図った。

理由：新型コロナウイルス感染症感染対策により、地域でのほとんどの活動が中止となったため。

今後：地域において、対象に合わせた健康づくりを支援する。

《食育推進計画》

重点的取り組み 1	生涯にわたるライフステージに応じた食育の推進					
生涯健康で過ごすためには、健康的な食習慣を身につけていることが大切です。 子どもから大人まで、主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事がとれるように、地元の野菜を取り入れた料理の紹介を行います。						
事業計画：広報などで地元の野菜を取り入れた料理の紹介						
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
目標値	12回	12回	12回	12回	12回	12回
実績	12回	12回	12回	12回	12回	12回
						計画通り実施でき 目標を達成できた

実績：計画どおり目標回数を実施したことに加え、バランスのよい食生活の大切さと地産地消を啓発するため、食生活改善推進員が考案したレシピも取り入れて掲載することができ、リーフレットの配布数やホームページの閲覧数などの実績も向上した。

理由：食生活改善推進員と連携し、計画的に実施できたため。

今後：今後も継続していく。

重点的取り組み 2		食を通じたコミュニケーションの推進				
家族や仲間と一緒に食事を楽しむことは、心や体を元気してくれます。共食の機会が増えるよう、その大切さを伝えていきます。						
事業計画： 教室などで共食の大切さについて啓発の実施						
	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	30 回	33 回	35 回	38 回	40 回	40 回
実績	25 回	30 回	30 回	30 回	6 回	14 回
						計画通り実施できず 目標は達成できなかった

実績：新型コロナウイルス感染症の影響により、教室の実施回数が減り目標を達成できなかったが、定員を縮小し、実施方法を変更するなど、感染症対策のうえ事業を再開したことにより、令和2年度よりも実績が向上した。

理由：新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止対策のため。

今後：新型コロナウイルス感染症のため、事業の縮小による啓発の場の減少以外にも、小中学校での黙食や、地域での食事会の中止など、社会的に共食の推進が困難な状況が継続すると思われる。今後も共食の必要性や効果などについて継続して周知を行うが、積極的な勧奨については、社会情勢等に鑑みて実施していく。

《歯科口腔保健推進計画》

重点的取り組み 1		生涯を通じた歯科疾患重症化予防に対する取り組みの強化				
妊娠中の歯科疾患重症化予防のため、妊婦歯科健診を実施します。						
事業計画： 妊婦歯科健診受診率						
	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	25%	25%	30%	30%	35%	35%
実績	12.2%	18.9%	16.3%	22.2%	14.8%	16.6%
人数	49/402	84/444	65/398	70/316	54/363	52/315
						計画通り実施できたが 目標は達成できなかった

実績：計画どおり実施でき受診率は向上したが、目標値には届かなかった。

理由：妊娠届出書記入欄の調査により、妊娠期よりも前から定期歯科受診をしている妊婦の割合が 35%前後を推移していることから、妊婦歯科健診受診率以上に妊娠期の歯科受診はされているものと推察される。

今後：かかりつけ歯科医がない妊婦にとっては定期歯科受診のきっかけとなっているため、今後も母子健康手帳交付時や両親学級などにおいて歯科健診の重要性を直接説明し、受診率向上を図っていく。

(参考) 妊婦の定期歯科受診率 (妊娠届出書調査より)

H29	H30	H31	R2	R3
33%	37%	35%	33%	36%

重点的取り組み 2	生涯を通じてよく噛んで食べることや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みの充実					
生涯を通じた歯科口腔機能の維持改善のため、後期高齢者歯科口腔健診を実施します。						
事業計画：半年前より硬いものが食べにくいと感じている76歳の割合						
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
目標値	10%	10%	15%	15%	20%	20%
実績	1.2%	15.5%	17.2%	15.4%	14.6%	12.2%
人数	8/646	124/799	136/792	123/798	110/752	76/624
						計画通り実施できたが 目標は達成できなかった

実績：計画どおり実施したが、目標は達成できなかった。

理由：すでにかかりつけ歯科医をもち定期歯科受診をしている人や、新型コロナウイルス感染症による外出控えが影響したものと推察される。

今後：対象者全員への受診票送付に加え、市内各センターにポスターを掲示するなどの周知により受診率向上を図っていく。

(参考) 令和3年度後期高齢者歯科口腔健診受診率

千葉県	印旛管内(9市町)	白井市
11.9%	9.7%	12.2%

重点的取り組み 3	歯科口腔保健の推進に関する連携体制の構築					
歯科口腔保健推進計画の具体的取り組みを市民と協働で推進していくため、歯科口腔保健推進ボランティア(しろい歯みがき隊)を育成します。						
事業計画：市民と協働で実施する普及啓発活動に参加した市民の数(登録人数)						
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
目標値	10人	10人	10人	20人	20人	20人
実績	6人	6人	9人	12人	12人	12人
						計画通り実施できず 目標は達成できなかった

実績：新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度に引き続き令和3年度も、新規募集・活動を中止したため、目標は達成できなかった。

理由：新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止対策のため。

今後：感染状況に鑑みながら令和4年度より活動再開を予定しており、登録者の新規募集も順次再開を検討していく。

《自殺対策計画》

自殺対策計画の数値目標

自殺対策計画では、国が示した数値目標「平成38年までに、自殺死亡率を平成27年と比べて30%以上減少させることとする」を受けて、市では令和2年から令和6年までの市の自殺死亡率

(10 万対)を 12.3 以下にすることを目標としています。

計画の推進とともに自殺死亡率は減少していますが、現在のところ達成には至っておらず、より一層の計画の推進が必要です。

【自殺死亡率】(5 年平均/人口 10 万対)

策定時(平成 30 年) 平成 24 年～ 平成 28 年平均	目標 令和 2 年～ 令和 6 年平均	実績 平成 25～ 平成 29 年平均	実績 平成 26 年～ 平成 30 年平均	実績 平成 27 年～ 平成 31 年平均	実績 平成 28 年 ～令和 2 年
17.6	12.3 以下	16.9	16.8	15.8	13.9

重点的取り組み 1	様々な分野でのゲートキーパー(命の門番)の養成		
高齢者の見守りや相談に関わる人に対してゲートキーパー養成講座を開催し、自殺対策の視点でも支援できる人を増やします。			
事業計画：小学校区単位でのゲートキーパー(命の門番)の養成			
	H31 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	各小学校区累計 2 人以上	各小学校区累計 2 人以上	各小学校区累計 10 人以上
実績	7 小学校区	8 小学校区	1 小学校区
計画通り実施できず 目標は達成できなかった			

実績：令和 3 年度は感染対策を図りながら 1 回の講座を実施した。

令和 3 年度までに市内 9 小学校区すべてで、1 校当たりの累計養成者数 10 人以上を目指してきたが、10 人以上を達成したのは 1 校だけであった。

しかしながら、小学校区ごとの養成者数を増加させることはでき、一定の効果があった。

理由：感染対策のために定員を減らしたことや、受講者自身や家族の体調不良のため欠席せざるを得ない受講者が出たりしたため。

今後：市民の見守りを行っている団体を対象として、引き続き養成講座を開催していく。また、養成者数の少ない小学校区からの積極的な受講を要請していく。

重点的取り組み 2	自殺のリスクを抱える可能性のある人への支援		
経済的・社会的困窮状態からの早期脱却を図るため、専門の相談窓口の紹介や相談者とともにプランを作成するなど、困窮状況に応じて自立に向けた支援を行います。			
事業計画：「くらしと仕事のサポートセンター」の周知及び相談体制の充実			
	H31 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	事業の周知	「つなぐシート」の作成	「つなぐシート」の活用・連携
実績	事業の周知	事業の周知 ※「つなぐシート」の作成は 1 年延期	「つなぐシート案」の作成・ 検討、事業の周知
計画通り実施できず 目標は達成できなかった			

実績：令和3年度は、「つなぐシート案」を作成し、白井市くらしと仕事のサポートセンター支援調整会議において検討した結果、「つなぐシート」の必要性を含めた検討が必要となり、「つなぐシート」の活用には至っていない。自殺のリスクを抱える人へ、専門の相談窓口の紹介と併せ、相談受付から、相談者とともにプランを作成し、解決に向けた支援を関係各部署が、概ね連携して行っている。

理由：関係各部署の連携が概ね図れていることから、「つなぐシート」の活用が必須ではないと考える部署もある。

今後：庁内各部署等と連携し、様々な方法で相談窓口の周知やLINE等を活用した相談の実施など相談しやすい体制作りを継続して行う。

(2) 事業実績

令和3年度の事業実績は4計画の合計で「計画以上に実施できた事業」と「計画どおり実施できた事業」を合わせて72.9%、「計画どおりに実施できなかった事業」と「実施できなかった事業」を合わせると27.1%となりました。

各計画の令和3年度の事業実績（重点的取り組み事業を含む）

	事業数 (休廃止を除く)	◎：計画以上に実施できた事業	○：計画どおり実施できた事業	△：計画どおり実施できなかった事業	×：実施できなかった事業	終了・統合となった事業
健康増進計画	40 (100%)	0 (0%)	32 (80.0%)	6 (15.0%)	2 (5.0%)	0
食育推進計画	38 (100%)	1 (2.6%)	20 (52.7%)	13 (34.2%)	4 (10.5%)	2
歯科口腔保健推進計画	31 (100%)	0 (0%)	23 (74.2%)	5 (16.1%)	3 (9.7%)	4
自殺対策計画	33 (100%)	2 (6.1%)	26 (78.8%)	4 (12.1%)	1 (3.0%)	0
合計	144 (100%)	3 (2.1%)	102 (70.8%)	29 (20.1%)	10 (7.0%)	6

「計画どおりに実施できなかった事業（△）」と「実施できなかった事業（×）」を、その原因により次の3つに分類しました。

- ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のために定員を削減するなど事業の縮小をしたもの
- ②新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のために事業を中止したもの
- ③その他の理由によるもの

それぞれの内訳は次ページからの一覧表のとおりです。

《計画どおり実施できなかった事業（△）》

①感染拡大防止対策のために定員を削減するなど事業の縮小をしたもの

計 画	事業番号	事 業 名
健康増進計画	5	1歳6か月・3歳児健康診査
	20	ゲートキーパー養成講座
	30	健康増進ルーム
	31	総合型地域スポーツクラブ
	36	地域の健康づくり
食育推進計画	2	保育園での食育推進事業
	3	学校での食育推進
	4	各種料理等の教室事業
	7	幼児健康診査
	8	かみかみ教室
	9	プレ☆パパママスクール
	10	生活習慣病予防教室
	11	各種料理等の教室事業
	12	食に関する市民向け講座（なるほど行政講座など）
	30	食生活改善推進員活動事業
歯科口腔保健推進計画	12	プレ☆パパママスクール
自殺対策計画	2	心配ごと相談（弁護士相談など）
	10	ゲートキーパー養成講座
	30	しろい高齢者みまもりネット

③その他の理由によるもの

計 画	事業番号	事 業 名	理 由
健康増進計画	24	健診後結果相談	別に受け皿となる相談の場があるため相談件数が減ったと思われる
食育推進計画	6	飲食店や商店への健康に配慮したメニューの提案	しろい食育サポート店及びHPにて提案しているが、サポート店でメニュー化に至っていないため
	17	保育園給食事業	地元農産物の利用品目数の減少については、保育園給食に見合った量を契約可能な食品関連事業者が不足しているため
	27	市民農園開設の支援	窓口や電話で対応しているが、開設実績はないため
歯科口腔保健推進計画	10	千葉県心身障害者歯科保健巡回診療指導事業	希望する事業所がなかったため
	20	なるほど行政講座「歯っぴいスマイル講座」	講座依頼がなかったため

計 画	事業番号	事 業 名	理 由
歯科口腔保健推進計画	23	よい歯コンクール	応募がなかったため
	33	訪問歯科診療（情報提供）	問い合わせがなかったため
自殺対策計画	19	自死遺族支援公開講座（県）の情報提供	開催情報の把握ができなかったため

《実施できなかった事業（×）》

②感染拡大防止対策のために事業を中止したもの

計 画	事業番号	事 業 名
健康増進計画	18	COPD 予防教室
	40	新型インフルエンザ等対策事業
食育推進計画	13	保育園での食育推進事業
	25	高齢者食事会事業
	26	農産物加工研究会への支援
	28	J A 西印旛農協農産物直売組合白井支部への支援
歯科口腔保健推進計画	14	保育園歯科保健指導
	15	児童生徒の歯科保健指導
	28	歯科口腔保健推進ボランティア育成

③その他の理由によるもの

計 画	事業番号	事 業 名	理 由
自殺対策計画	11	地域子育て支援拠点事業従事者研修	職員の勤務体制の関係で各種研修会への参加が難しい状況にあるため

《コロナ禍において事業を実施する上での対策（工夫）》

計 画	対 策	対策の内容	該当事業名
健康増進計画	感染対策	・定員を設け予約制で実施する、距離を保つなどの三密対策	・特定健康診査 ・後期高齢者健康診査 ・がん検診 ・生活習慣病予防教室等
	情報発信	・動画配信やホームページでの情報提供	・健康情報の発信 ・地域の健康づくり
	個別支援の実施	・1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査での指導を個別で実施	・1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査での集団栄養指導

計 画	対 策	対策の内容	該当事業名
食育推進計画	感染対策	・定員を下げ、調理実習や試食提供を中止し、距離を保つなどの三密対策を実施。中止内容は、デモンストレーションや離乳食見本の展示などで代替	・各種料理等教室事業 ・かみかみ教室
		・集団でのクッキングを個別で実施	・保育園での食育推進事業
		・一部中止した講習会や給食指導を、オンラインや資料配布などで代替	・学校衛生講習会 ・学校での栄養指導
		・学習会等の人数制限を設け、制限部分は資料配布で代替 ・県オンライン研修会の利用案内	・食生活改善推進員養成
	情報発信	・動画配信やホームページでの情報提供	・各種料理等教室事業 ・かみかみ教室 ・食生活改善推進員活動 ・食育情報の発信
個別支援の実施	・1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査での指導を個別で実施	・1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査での集団栄養指導	
歯科口腔保健推進計画	感染対策	・定員を設け予約制で実施する、距離を保つなどの三密対策 ・実施指導を中止し、資料配布などで代替	・1歳6か月児健康診査 ・2歳児歯科健康診査 ・3歳児健康診査 ・かみかみ教室 ・子育て支援センターすこやか相談
		・対象年齢の延長、実施日の増加により来所者を分散	・2歳児歯科健康診査
	情報発信	・集団指導の代替として動画配信用の動画撮影を行った(R4配信)	・1歳6か月児健康診査 ・2歳児歯科健康診査 ・3歳児健康診査 ・かみかみ教室
自殺対策計画	感染対策	・定員の減少、内容の変更、遮蔽板やフェイスシールドの使用などにより三密対策を実施	・こころの健康教室 ・ゲートキーパー養成講座 ・健康づくり講演会、
		・一部の相談事業において、電話やZoomによる非対面での相談方法を追加した	・女性生き生き相談 ・ニート・引きこもり相談会

2 第2次しろい健康プランの達成度

(1) 4計画共通の到達目標の達成度

第2次しろい健康プランでは、計画全体に対するアウトカム指標*として、次のとおり4計画共通の到達目標を定めています。

*アウトカム指標：成果という意味の英語で、施策、事業の実施による本質的な成果を測る指標。

【到達目標—健康寿命を延ばす】

	策定時 (平成25年度)	目標値 平成30年度	実績 平成30年度	実績 平成31年度	達成度
男性	79.9歳	80.4歳	81.0歳	81.0歳	達成
女性	83.0歳	83.5歳	83.6歳	83.8歳	達成

※健康寿命の算定には、算定年度の前を含み3か年の数値が必要となるため、平成31年度の数値が現時点で最新値となります。

(2) めざそう値の達成度

第2次しろい健康プランでは、4つの計画それぞれに施策の方向性とその具体的な取り組みを位置づけ、各取り組みに対応し合計56個の目標項目と、計画期間内に達成を目指す「めざそう値」を設定して計画を推進してきました。

達成状況の判定にあたっては、策定時の値及び「めざそう値」の関係性により、5段階で判定し、一元的に評価しました。

判定	内容
達成	第2次プラン策定時のめざそう値の値を超えている
改善傾向	第2次プラン策定時のめざそう値の値には達していないが、現状値が策定時の値を上回り、改善傾向にある
変わらない	第2次プラン策定時のめざそう値の値と現状値の差が±3.0%以内である
悪化	策定時の値よりも現状値が悪化している
—	調査対象者の変更により、達成状況が評価できないもの

<めざそう値の総合的な評価>

次ページの表は、4つの計画の施策の方向性ごとに判定の個数を集計したものです。

4つの計画の判定の合計をみると、「達成」の占める割合が21.4%、「改善傾向」が26.8%となっており、「達成」と「改善傾向」を合わせ48.2%だったことから、市民の健康意識や健康状態の改善には、一定の効果があったと考えられます。その一方で、「悪化」の占める割合は17.9%でした。

計画別にみると「達成」と「改善傾向」を合わせた割合が最も高かったのは自殺対策計画の83.3%、次が歯科口腔保健推進計画の71.4%でした。また、「悪化」の占める割合が最も高かったのは食育推進計画の26.3%、次が健康増進計画の23.5%でした。

計画	施策の方向性	判定別の個数					
		達成	改善傾向	変わらない	悪化	小計	—
健康増進計画	1 生活習慣の改善	1	2	3	1	7	0
	2 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	0	1	4	1	6	1
	3 生活習慣病の発症予防と重症化の予防	0	1	0	2	3	0
	4 健康を支え、守るための社会環境の整備	0	0	1	0	1	0
	めざそう値の小計 (個)	1	4	8	4	17	1
	めざそう値の判定割合 (%)	5.9	23.5	47.1	23.5	100	
食育推進計画	1 食と健康づくりの推進	1	1	4	3	9	0
	2 食を通じたコミュニケーション	2	1	3	2	8	0
	3 食育を推進するための食環境の整備	1	1	0	0	2	0
	めざそう値の小計 (個)	4	3	7	5	19	0
	めざそう値の判定割合 (%)	21.1	15.8	36.8	26.3	100	
歯科口腔保健推進計画	1 歯科口腔保健の意識と生活習慣の改善	1	3	0	0	4	1
	2 歯科疾患の予防	2	3	0	0	5	1
	3 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持獲得	0	0	2	1	3	0
	4 定期的に歯科健診または歯科医療を受けることが困難な人に対する歯科口腔保健	0	0	0	0	0	1
	5 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備	0	1	1	0	2	0
	めざそう値の小計 (個)	3	7	3	1	14	3
	めざそう値の判定割合 (%)	21.4	50.0	21.4	7.2	100	
自殺対策計画	1 地域におけるネットワークの強化	1	0	0	0	1	0
	2 自殺対策を支える人材の育成	0	1	0	0	1	1
	3 市民への啓発と周知	1	0	1	0	2	3
	4 生きることの促進要因への支援	1	0	0	0	1	1
	5 児童生徒の SOS の出し方に関する教育	1	0	0	0	1	1
	めざそう値の小計 (個)	4	1	1	0	6	6
	めざそう値の判定割合 (%)	66.6	16.7	16.7	0	100	
4 計画の合計	めざそう値の合計 (個)	12	15	19	10	56	10
	めざそう値の判定割合 (%)	21.4	26.8	33.9	17.9	100	

4つの計画で、めざそう値が「悪化」となった項目の原因は社会情勢の変化によるものと推察されます。また、その社会情勢は、新型コロナウイルス感染症とそれ以外のもの2つに分けることができます。

①新型コロナウイルス感染症のために外出の機会や人との接触の機会が減るなど、市民の行動様式に変化が生じたためと推察されるもの

計 画	施策の方向性	目標項目
健康増進計画	1 生活習慣の改善	BMI値が25以上（肥満）の人の割合の減少（20歳以上）
	3 生活習慣病の発症予防と重症化の予防	大腸がん検診受診率の向上 特定健康診査受診者中のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合
食育推進計画	1 食と健康づくりの推進	BMI値が25以上（肥満）の人の割合の減少（20歳以上）

②新型コロナウイルス感染症以外の社会情勢の変化によると推察されるもの

計 画	施策の方向性	目標項目
健康増進計画	2 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	午後10時以降に就寝する小学生の割合の減少
食育推進計画	1 食と健康づくりの推進	1日に主食・主菜・副菜を3つ以上揃えて食べる回数が2回以上の割合の増加
		減塩や薄味を心がけている人の割合の増加（20歳以上）
	2 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	家族と一緒に食事をとる回数の増加（20歳以上）〔朝＋夕〕 食事の手伝いをいつも、時々している子ども割合（小学生・中学生） 農産物を購入時・千葉県産、または白井産を選ぶ割合の増加（20歳以上）
歯科口腔保健推進計画	3 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持獲得	3歳児でよく噛んで食べていると思う保護者の割合の増加
		3歳児で不正咬合が認められる幼児の減少

3 第2次しろい健康プランに対する意見

第2次しろい健康プランについて、庁内関係職員や各計画の関係団体・機関の会議にて、いただいた意見は次のとおりです。

会議の日程

4 計画	庁内健康づくり推進会議	令和4年6月30日
健康増進計画	保健衛生事業計画医師会議	令和4年8月4日
食育推進計画	栄養士連絡会	令和4年8月3日
歯科口腔保健推進計画	保健衛生事業計画歯科医師会議	令和4年7月27日
自殺対策計画	自殺対策ネットワーク会議	令和4年8月10日

(1) 健康増進計画に対する意見

会 議	テーマ	意 見
庁内健康づくり推進会議	地域の団体との健康づくりに関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校区まちづくり協議会には、健康を課題ととらえ健康や体操に関する部会を設けている地区もあるので、健康課で関係づくりを進めてはどうか。 ・小学校区まちづくり協議会と総合型地域スポーツクラブが連携事業を行うという話が出ているので、そこに健康課が関わっても良いのではないか。 ・地域によっては、総合型地域スポーツクラブや民間の教室等に参加しづらい地域もある。地域性に応じた取り組みが必要ではないか。 ・健康を広めていく地域の指導者やリーダーの育成が課題である。 ・学校では体育学習の研究指定校を決め、研究部会を市、三部、印旛圏域それぞれに設けているので、テーマを把握しても良いのでは。
	生活困窮者の健康づくり（健康格差の広がりについて）	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしと仕事のサポートセンターや社会福祉協議会の窓口など生活困窮者に対応する窓口で、健康に関する情報提供を試みてはどうか。
保健衛生事業計画医師会議		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に入って数年経っているので、対策は既にとっていてしかるべきでは。評価は「課題があって改善が必要である」だけでなく、「こういう実績や課題があるから、こういう対策をしよう」という説明をしてほしい。 ・日頃の診療の中で、コロナの影響で運動できていない人が多いと感じている。ウォーキング中の感染リスクは低いと考えられるので、ウォーキングを引き続き勧めていきたい。 ・健康講座は参加する方をどのように掘り起こすかが重要である。多くの方を保健センターなどへ集めるというよりは、市民の身近な所で開催することで、興味のない方が健康について触れるチャンスを作ることが大事だ。

(2) 食育推進計画

会 議	テーマ	意 見
<p>市内健康づくり 推進会議</p>	<p>食育に関する効果的な情報発信について</p>	<p><市が主体となることができるもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・梨直売所、梨の箱の中にレシピを入れる。(他県の自治体で実績あり) ・市民プールなど、人が多く集まる場を活用する。 ・保健センターでの掲示を活用する。 ・若者向けに YouTube、ティックトックなどで配信する。 ・産業振興課や健康課職員が講師となり、学校で食育出前授業を行う。 ・障害福祉課の講座対象者へ情報提供を行う。 <p><学校や市民に依頼するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校と調整し、児童が使用するタブレットに市の動画 URL を貼る。 ・小中学校に掲示を依頼する。授業参観で来所した際の空き時間に親も見ることができる。 ・白井高校と連携し、啓発場所や方法のアイディアを考えてもらってもよいのではないか。 ・農家に講師を依頼し、学校で食育や地産地消について話してもらう。 ・高齢者を対象とする場合は、口コミの効果が高いため、キーマンに協力を依頼する。 <p><企業などと連携して行うもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括連携先の企業や代理店と連携した情報発信、協定を結んでいる民間企業。広告などの活用。 ・カスミの移動販売車や、買い物袋へチラシを入れてもらう。 ・コンビニなど、市情報の配架が可能な施設一覧（秘書課）を活用する。 ・高齢者を対象とする場合は、薬局や医療機関などに依頼し、待ち時間に情報を閲覧できるとよい。 ・薬局の健康づくりミニ講座などとタイアップしてはどうか。 ・郵便局は、掲示などに協力してもらえらる。
	<p>野菜摂取量の向上に関する取組について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター1階のたんぼぼ跡地を活用し、野菜を使ったレストランや野菜の販売を行えないだろうか。 ・調理が難しい高齢者でも参加可能な、地域の子ども食堂のような食事の場で野菜料理を提供する。 ・調理が難しい障がい者は、事業所に働きかけることや、一人で調理できるレシピの普及を行う。 ・どのような野菜を選んだらよいか難しい障がい者へ、野菜の効能を記載したチラシを提供する。 ・包括連携の企業などと連携し、企業のノウハウを取り入れた啓発をする。

会 議	意 見
栄養士連絡会	<p>＜悪化となっためざそう値の改善への提案＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○苦手な食べ物でも食べられる子どもの割合の低下（小学生） <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士だけでなく栄養教諭や、食育に関わりのある理科や家庭科、その他教科の教職員などが学校全体で共通認識を持って取り組むとよいのではないか。 ・農作物に触れることで苦手意識の低下につながるので、農家と連携した栽培体験や現地見学、生産者の話を聞くことで改善につながるのではないか。 ○給食の残菜率の増加（小学生・中学生） <ul style="list-style-type: none"> ・全体の残菜率だけでなく、個人の残菜率も把握し、残菜率が高い子への支援として、担任や学年主任などの教職員と連携することも重要ではないか。 ○よく噛んで食べると思う保護者の割合の低下（3歳児） <ul style="list-style-type: none"> ・ちば食育ボランティアや企業など、栄養士とは違う視点で話せる人材の活用はどうか。 <p>＜食育に関する新規情報啓発（スーパー等の販売店での野菜・減塩プロジェクト）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野菜プロジェクトについて <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の効果などが一目でわかるポップやポスターを、野菜売り場等に設置するとよい。 ・小さくても目を引く“プラス1皿”や“1日350g”などのポップの設置はどうか。 ・店舗と連携し、1食分の野菜がとれる弁当や惣菜をポップにて紹介するとよい。 ○減塩プロジェクトについて <ul style="list-style-type: none"> ・総菜売り場や減塩コーナーにポップを設置すると見てもらえるのではないか。 ・のぼり旗や減塩イラストのエコバックなどを作成し、周知するとよいのではないか。 ・店舗と連携し、減塩惣菜の提供や減塩商品のコーナーを作ってもらおうとよい。

(3) 歯科口腔保健推進計画

会 議	テーマ	意 見
<p>庁内健康づくり 推進会議</p>	<p>障害を有する 人・介護を必要 とする人などに 歯科医療情報を 提供する方法に ついて</p>	<p><歯科医療情報への意識について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所で歯科医療の情報提供が可能なことを周知する。(知らない人が多いと予想されるため) ・口腔ケアの重要性について、頭ではわかってはいても行動に移すまで時間がかかり、後回しになりがちである。医療にかかる前に手軽に実施できる中間的なアドバイスがあると良い。 <p><情報提供を行う先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャー、相談事業所、介護サービス提供事業者に情報提供する。(ケアマネ協議会にて在宅療養者の口腔ケアに関する資料を施設関係者向けに提供するなど) ・障害者家族の集まりの場(年1～2回)で情報提供する。 <p><チラシ配布による情報提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵便局のみまもり訪問サービスを利用し、チラシを配布する。 ・障害者手帳交付時にチラシを配布する。 ・自立支援医療の更新のタイミング(1年に1回)で来庁した際にチラシを配布する。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの程度まで情報提供が可能なのかを整理する必要がある。(歯科医療機関一覧なのか、具体的なケア方法なのか) ・障害者への対応について、歯科医療機関に協力を求めていく。 ・歯科受診へのハードルを下げするため、金銭面の支援があるとよい。
<p>保健衛生事業計 画歯科医師会議</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・障害手帳交付時に新たに千葉県歯科医師会ホームページに掲載されている「障害のある方の上手な歯科受診の手びき」、「障害児(者)歯科治療受け入れ協力歯科医療機関一覧」を情報提供することを検討しているということについては、良い取り組みであるのでぜひ実施するとよい。 ・在宅療養者の歯科受診について、白井市介護支援専門員協議会等で千葉県歯科医師会ホームページに掲載されている「訪問歯科診療対応歯科医院一覧」から近隣を抜粋したものを情報提供する事を検討しているとのことだが、良い取り組みなので実施するとよい。

(4) 自殺対策計画

会議	テーマ	意見
<p>市内健康づくり推進会議</p>	<p>市職員への自殺対策の周知（市職員にも市民や身近な人の見守りや支援を意識してもらうために）</p>	<p>健康課から市内メール連絡により、自殺対策について、相談先を中心に周知しているが、内容を確認した委員は約 1/6 であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報量が多いため、すべてはなかなか見られない。知らせたい情報のポイントを絞った方がよい。 ・自身の業務と関係ないと思わせる件名・関心を持ってない件名であったため開かなかったのではないかな。 <p><対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中身がわかる件名にする。 ・情報量はポイントを絞る。 ・情報は具体的に。（こういう人がいたら〇〇してほしいなど） ・複数回（繰り返し）の周知（自殺者が増える時期など） ・傾向と対策として、事例などが示されていると関心を持たれやすい。良い方向に向かった事例であれば、見る職員の精神的な負担が少ないのではないかな。（職員の中にも精神的な不調を抱える人もいるので配慮が必要） <p>○情報提供の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務課などが行うメンタルヘルスの研修に含めて周知をしてはどうか。おおむねどのような話がされるか分かった上での参加となるため、すべての職員への周知と異なり、自殺に関わる話題が出て問題はないのではないかな。 ・市民課から職員向けに出される人口の報告に、自殺者数も掲載してはどうか。 <p>○情報提供の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺のリスクや兆候 ・情報は具体的に。（こういう人がいたら〇〇してほしい。など） ・相談窓口が一覧となったもの（くらしと仕事のサポートセンターや子ども食堂、メンタル関係など）があると渡しやすい。
<p>自殺対策ネットワーク会議</p>	<p>・自殺者が増えている中で、ゲートキーパーの役割を広めていく取り組みはとても有効な対策である。ゲートキーパー養成講座などにより養成者数を増やしてほしい。</p> <p>・子どもたちの自殺が急増している。コロナ禍で家庭環境が影響していると感じる。大人以上に子どもの負担は大きく、特別な支援を必要とする子どもが増えている。しかし、児童精神科等が少なく、医療につながりにくい状況にある。近隣の医療機関情報を提供してほしい。</p> <p>・ヤングケアラーについて、高校では本人等からの申告がなければ把握が難しい。必要に応じた配慮をしていきたいので、市の関係部署とも連携を図りたい。</p>	